



編集発行

公益社団法人  
 四街道市シルバー人材センター  
 普及啓発委員会 広報編集グループ  
 四街道市和良比181-37  
 電話 043-497-5080  
<http://www.sjc.ne.jp/yotsukaidou/>

自主・自立・共働・共助の理念と安全就業



オオアカゲラの巣立ち (撮影・提供/田原 巖 会員)

明日へ  
 羽ばたけ!



会員増強と無事故を目指して

公益社団法人四街道市シルバー人材センター  
 会長 斉藤 勝璋



暑中お見舞い申し上げます。

私達にとって、厳しい  
 時節を迎えました。  
 当センター会員の平均  
 年齢は、疾うに70歳  
 を超えております。

自重自愛の上、就業にあ  
 っていただくことを、先ず前  
 もってお願いいたします。

業績につきましては、一昨年につづき、昨年度  
 も契約高、受注件数において、過去最高の数字を  
 残すことができました。今年度は、まだスタート  
 したばかりですが、順調な数字を挙げてきており  
 ます。これは、偏に、会員みなさんの平生の就  
 業において、地域の方々から少なからず、信頼を  
 得ている証左のひとつと言えるのではないかと  
 考えております。ただ、憂慮すべきは、こうした  
 好業績に反比例して、会員数が伸び悩んでいる

ことです。会員数が伸びていないということは、  
 今年3月に四街道市と「空家等の適正な管理の  
 推進に関する」協定書を結んだことや、4月に市  
 の介護予防・日常生活支援総合事業がスタートし、  
 これに関連して、当センターが市から介護保険事  
 業者の指定を受けたこと、更に、派遣事業進出の  
 本格化等々、これらの事業を順調に軌道に乗せる  
 ことが難しくなると考えられます。その意味で、  
 会員の増強は、必須なものと言えます。確かに、  
 これを克服するには、シルバー人材センターの今  
 置かれた環境を考えますと、大変厳しいものが  
 ありますが、会員募集の方法等に工夫をこらし、  
 会員増を目指しますので、会員みなさんにも  
 ご理解とご協力をお願いいたします。

冒頭申し上げましたが、これから酷暑に向か  
 います。くれぐれも体力を過信することなく就業し、  
 無事故を目指して頂きますよう、お願いいたしま  
 す。

おめでとう! 瀬戸口定志さんが「瑞宝双光章」を受章  
元千葉県警察警部、今春の危険業務従事者叙勲で



瀬戸口 定志 会員

市役所駐車場で就業中の瀬戸口定志さん（71歳）が、今春の危険業務従事者叙勲で晴れの「瑞宝双光章」を受章されました。

私たちの仲間の快挙に、心から拍手を送りたいと思います。

瀬戸口さんは鹿児島県出身、昭和40年に千葉県警の警察官を拝命。主に警備畑を歩いて、この叙勲を手中にした。

「県警の監察官室から叙勲の一報をいただいたときは、まさか私かと耳を疑いました。第二の故郷である千葉県の仕事で身に余る叙勲を頂き、こんなに嬉しいことはありません」

と、感激の言葉を率直に語ってくれた。

「警備畑では成田空港警備や数々の要人警護などの仕事に携わりました」

かつてを振り返る瀬戸口さんは、70代を迎えたとは思えないほど若々しく、精悍な風貌だ。それもそのはず、瀬戸口さんは剣道6段の腕前で、今も毎日、竹刀の素振りを欠かさないという。

「今後も叙勲者の名に恥じないよう精進します」

瀬戸口さんは背筋をピンと伸ばして、そう結んだ。

(インタビューー 野村編集委員)

当センター会員 小川勇さんの作品

千葉県シルバー人材センター連合の統一スローガンに!



平成29年6月27日、公益社団法人千葉県シルバー人材センター連合会の定時総会において、当センターの小川勇会員が表彰を受けました。これは、県連合会が平成29年度から平成31年度の間使用する、千葉県安全就業標語を募集した結果、作品49点（17センター）の中から、最優秀作品に選ばれたためです。

今後3年間、千葉県内全てのセンターが千葉県安全標語として、小川勇会員の作品を使用して、無事故を目指します。

【小川 勇 会員の作品】  
千葉県安全標語



表彰を受ける 小川 勇 会員

「これくらい!」 緩む気持ちさが 事故を呼ぶ

シルバー人材センター法制化 30 周年記念  
で 優良センターに！

シルバー人材センター法制化30周年を記念して、入会率や就業率等の実績の他、活動が活発で、地域社会への貢献度が高く、他の都道府県連合及びセンターの模範となる事業運営が行われているとして、県連合会から推薦され、優良シルバー人材センターとして、平成29年6月22日に開催された、公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会の総会で、表彰されました。

同協会の加入センターは、全国に約1,300団体、表彰を受けるのは56団体、千葉県からは当センターと多古町。



安全で安心して暮らせる  
まちづくりのために



当センターは、平成29年3月、「空家等の適正な管理の推進に関する協定書」に調印、

四街道市と相互に連携・協力をし、市内の空き家等の対策を進めることにより、市民生活に及ぼしている影響を改善し、「市民が安全で安心して暮らせるまちづくり」を推進することに寄与いたします。

具体的な作業は従来通り、空き家の除草作業や植木の手入れ、修繕作業、清掃作業など。

また、市内の空き家について、四街道市に情報の提供も行います。就業中やその途上など、気づいたことがありましたら、事務局にご一報下さいますよう、お願いいたします。

平成29年4月より スタート！

介護予防・日常生活支援総合事業



介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）は、65歳以上のすべての人を対象とした、市町村が実施する介護予防事業です。介護保険の認定を受けなくても一人ひとりの生活に合わせた介護予防事業を利用できるようになります。地域で自分らしく暮らし続けていくために、総合事業を利用して自立した生活を続けましょう。

四街道市

新たな貢献！  
介護保険事業所に

平成29年4月1日、介護保険事業者の認定を受け、介護予防・訪問生活支援サービスの事業を実施するはこびとなりました。

これにより、ケアマネージャを通じて、「訪問型サービスA」（利用者宅に訪問して、調理や掃除などを一緒に行い、利用者ができることが増えるような支援をする仕事）を受注できるようになりました。

四街道市介護予防・日常生活支援総合事業についての詳しいことは、四街道市又は地域包括支援センターにお問い合わせください。

新体制で、会員増強に取り組む！



新役員の皆さん（拠点駐車場にて）

写真前列左から

宮部延宏監事、三浦誠副会長、齊藤勝璋会長、岩崎雄一理事、市川恵子理事、鈴木昌子理事

写真2列目左から

坂口健司監事、鈴木貞二理事、高久勝美理事

写真3列目左から

池田肇事務局長兼常務理事、川松勝洋理事、平林健一理事、伊藤健一理事

平成29年6月1日、南部総合福祉センターにおいて、佐渡市長、岡田市議会議長のほか、市の関係各位を来賓に迎え、平成29年度定時総会が開催されました。

任期満了に伴う役員の改選が行われ、新体制となり、会員の増強や新事業への対応などに取り組みます。会員の増強では、会員の皆さんの「ロコミ勧誘」などのご協力が不可欠です。

「四街道市介護予防・日常生活支援総合事業」に対応するため、定款の一部が変更されました。

また、役員の報酬等及び費用に関する規程が、名称の一部とともに、30年ぶりに報酬の額が変更されました。

総会が閉会した後、会員親睦会の総会が開催され、その中で功労表彰が行われました。

10年表彰で、21名の会員の方々に表彰状と記念品が贈られました。

詳しくは、会員親睦会のホームページに掲載されております。

表彰を受けた皆さん、おめでとうございます。



功労表彰（会員親睦会総会）

我が家のペットを紹介しまあす♡



その猫凶暴につき…

引き取った時は、  
体重約70グラム、へその緒つき  
今や、体重3000グラム…

しずくさん(♀)、かわいい顔して凶暴につき、  
他の家族は、生傷が絶えません…

事務局職員 阿部 知和

※このコーナーでは、会員の皆様からの投稿をお待ちしております。

§ 編集後記 §

広報編集グループに新たなメンバーが加わりました。新聞の編集経験が長い野村委員です。新たな視点から、より親しみ深い「シルバー四街道」を目指します。今回の第62号は如何でしょうか？皆様のご意見、ご感想をお寄せ下さい。「シルバー四街道」の主役は会員の皆様です。

会 員 数

男 性	420名
女 性	137名
合 計	557名



平成29年6月末日現在

最高登録会員数 平成24年1月末 672名